



『感謝』 1年間ありがとうございました。

サンホセ日本人学校 校長 半山章人

「おはようございます。」誰もまだ登校していない教室の入り口に立って、挨拶をしている子どもの姿が見られました。「誰に挨拶していたの？」と聞くと、「教室です。」と返ってきました。「教室は、放課後私たちがいない間、私たちのノートや道具を守ってくれたから」「教室に今日も1日よろしくお願ひしますという気持ちを口に出すことで、がんばれそうだから」帰る時にも教室に「さようなら」と言うそうです。挨拶は人にするものだと思いがちですが、教室や物などに挨拶を通して感謝の気持ちを伝えることを子どもから学びました。日本の学校では、学校や校舎はあって当たり前という感じを受けますが、ここサンホセ日本人学校では、先人の方が子どもたちのために校舎や広い運動場を準備してくださったという感謝の気持ちが子どもにも伝わっているのだと思います。創立50周年記念式典を行うことで、本校に対する様々な方の思いやご尽力を再認識することができました。

帰国する子どもたちには、環境が変わってもここで経験して感じたことや学んだことを日本の学校でも言動に表して、自分らしく生きてほしいと思います。そして、コスタリカ、サンホセ日本人学校で学んだことを誇りに思うとともに、様々な文化や考えを受け入れられる視野の広い人に成長されることを期待しています。

「お金で買えない感動を！」 第46回 合同運動会

「このような雨は見たことない」コスタリカの乾季における早朝(いや前日)からの雨はここ数十年で予想していませんでした。しかし、運動会を成功させようとする子どもたちや参加している皆様の熱い思いが天に届いたのでしょう。途中から雨は上がり、子どもたちが練習してきた一輪車の演技を運動場で最高の形で発表することができました。練習では、様々な課題を抱えながら、つまずくたびに中学部を中心にミーティングを行いました。そのような過程があったからこそ、笑顔、そして充実感があったのでしょうか。大いに盛り上がることも最後まで応援いただいたり、競技に参加して下さったりした日本人会の皆様のお陰です。ありがとうございました。



【第46回 日本人会・日本人学校合同運動会】

学びの成果を発信 熱気と笑顔に包まれた学習発表会

「コスタリカの豊かな自然環境と生物多様性、太古の昔から続くコスタリカの伝統文化」のテーマのもと4月から各学級で取り組んできた現地理解教育の学びを披露しました。1・2年生は日本人学校のいきものについて、3・4年生はコスタリカふしぎ発見と題して民族衣装でダンスを披露、5年生はJICAの講師を招いて学習した自然環境について、中学部はコスタリカの名産コーヒーについて、また合唱や和太鼓、ソーランを発表しました。当日は、子どもたちがリサイクルの回収をしたり、コーヒーをふるまったりするなど、会場を巻きこんでの学習発表会でした。



【学習発表会 和太鼓の演奏】

岩澤様、建部様より寄贈いただきました。

サンホセ日本人学校の卒業生の岩澤はるえ様、保護者の建部雄祐様より、図書を多数寄贈いただきました。子どもたちのために、ありがとうございました。

